



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を
~~~~ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ~~~~

☆6月の目標

☆1学期の学習の  
まとめをしよう

☆元気なあいさつを  
しよう

☆体をきたえよう

☆配布物のお知らせ

1 学校便り 11号

☆保護者会からの配布物

...主な日程...

・6月25日 1学期終業日

・8月 6日 2学期始業日

子どもたちの作文から

☆海外生活で体験したこと

村林 洋基 (四年一組)

ぼくの海外生活で体験したこと  
一つ目は、飛行機です。理由は飛行  
機で十二時間乗っていたのでよって  
しまいました。飛行機は、とても辛  
かったです。お父さんと久しぶりに  
会って車でアパートまで行きました。  
ぼくは、アパートについて思いまし  
た。アパートは、日本の家より広い  
か。

二つ目は、学校です。さいしょは、  
「いやだあ」と思っていました。が、  
ちよつとえい語が分かったところ  
学校の友達としゃべれるようになり  
ました。ぼくが学校に行ける理由  
は、先生と友達です。先生はぼく  
の友達を助けてくれてとてもいい  
先生です。友達と先生は、ぼく  
の宝物です。友達は、今でもい  
つしよに遊んでいます。  
友達ができて  
ぼくは、  
とても幸せです。  
これからの  
がんばり  
たいです。



☆「時計の時間と心の時間」を読んで  
滝本ありす(六年二組)

私は、「時計の時間」と「心の  
時間」を読んで、筆者に共感したり、  
反対したりびっくりしたことがいく  
つかあります。私が、筆者と共感した  
ことは、段落③④⑥にある「心の時  
間」の事例です。私もゲームや友だち  
と遊んでいる時は、時間が早く感じる  
けれど、苦手なことを習っている時や  
苦手なことをやらなければいけない  
時は、時間がとても遅く感じます。  
「一日の時間帯によっても、『心の時  
間』の進み方は変わります。」の文に  
共感したことは、例えば、私が昼間な  
どに勉強などしたら、夜や朝にした  
時よりも、時間が早く感じていたとい  
うことです。同じ一時間しか勉強をし  
ていなかったのに、とても不思議な気  
持ちでした。この事例②を読んでから  
「そうだったのか」と、心の中で納得  
しました。

最後に、私が筆者の事例と共感した  
文は、「さらに、『心の時間』には、  
人によって感覚が異なるという特性  
があります。」です。前、教室の中で、  
机を軽く指でたたいたら、私以外の人  
たちのリズムは速かったのに、私のリ  
ズムだけはおそかったのです。その時  
考えたら、読むのもおそかったと気付  
きました。よく回りを見たら、みんな  
字をすらすらと書いていて、私とは違  
う感じだ不思議でした。

でも、私は、筆者に反対したことが  
一つあります。それは、「心の時間」  
の事例③です。筆者は、「物が少ない  
部屋よりも、たくさんある部屋のほう  
が、身の回りから受ける刺激が多いの  
で、時間が遅く感じるのではないかと  
考えられます。」と言っていたが、

私はそう思いません。でも、こ  
の文は、「感じるのではないかと  
考えられます」と言っていて、  
確実な事実ではないので、この  
事例に関しては、さまざま意見  
があると思います。私は、  
この文章を読んで、二つの「時  
間」についての特性や事例など、  
いろいろなることを学びました。  
また、二つの「時間」について  
の本を読んで見たいです。

☆「時計の時間と  
心の時間」を読んで  
山本 夏鈴 (六年二組)

山本 夏鈴 (六年二組)

私は、「時計の時間と」 「心の時  
間」は別物だという筆者の考えに共  
感します。楽しい時はあっという間  
に時間が過ぎ、つまらないときはな  
かなか時間がたたないことは、私も  
毎日のように体感しているからで  
す。例えば、授業中の時、好きなこ  
とをしていたら、時間がたつのが早  
く感じられます。私の場合、図工の  
時間や理科の時間です。自分が集中  
しているときは、すぐに授業が終  
わってしまいます。逆に、きらいな  
授業、例えば、国語や社会の時間だ  
と、いつまでたっても授業が終わら  
ない気がします。もちろん授業以外  
でも、友だちのたんじょう日会や学  
校の行事など、いろんな場所であ  
いたことはおきると思います。だ  
から、私も筆者のいうとおり「時計  
の時間」と「心の時間」を使い分け  
て過ごせたらいいなと思っています。  
でも、どうせなら、楽しい時間  
とつまらない時間の両方を逆  
にしてほしかったです。心の時間さ  
ん!